

大雪山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 概況

- ・ 火口や噴気の状態（図 1～図 3）

24 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。旭岳山頂付近には雲がかかっており、地獄谷爆裂火口上部の観測は出来ませんでした。主な噴気孔の状態に変化はありませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、各噴気孔に対応する高温域が認められました。噴気や高温域の状況は、これまで（前回：2007 年 7 月）と比べて特に変化はありませんでした。

御鉢平カルデラでは噴気は認められず、赤外熱映像装置¹⁾による観測でも地熱域は認められませんでした。

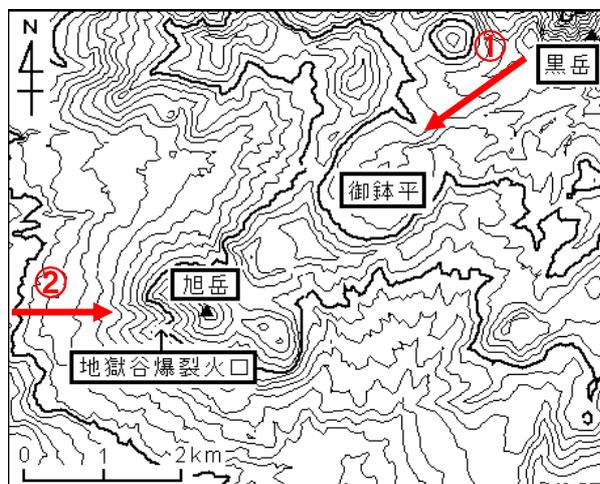


図 1 大雪山 火口周辺図



図 2 大雪山 御鉢平の状況
(8 月 24 日 図 1 ①方向から撮影)

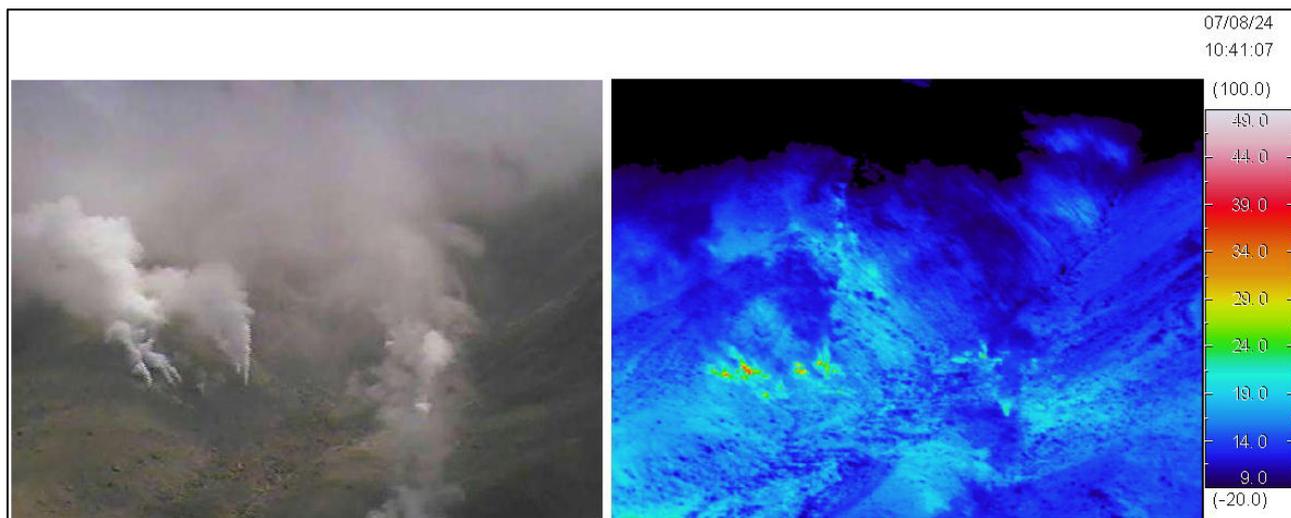


図 3 大雪山 赤外熱映像装置¹⁾による地獄谷爆裂火口の表面温度分布
(8 月 24 日 図 1 ②方向から撮影)

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。